

海からの贈り物 ～沈没船とさまざまな交流～

今年度のミュージアム連続講座は、大阪市立東洋陶磁美術館の特別展「新発見の高麗青磁—韓国水中考古学成果展」開催にちなみ、さまざまな「海の贈り物」について、総勢6名の講師が、独自のテーマでお話します。乞うご期待！

11/10(火) 第1回「沈没船と海中の文化財」

11/19(木) 第2回「海を渡る使者たち」

11/26(木) 第3回「港町と交易品」



平成27年 11月10日(火)・19日(木)・26日(木)

時間：19:00～20:30 定員：各回 先着80名(要事前申し込み) 受講料：500円(各回)

※複数回のお申し込みも可能です。

会場／大阪市立総合生涯学習センター 第1研修室 (大阪駅前第2ビル5F)

主催／公益財団法人大阪市博物館協会・公立大学法人大阪市立大学

大阪市立総合生涯学習センター <指定管理者：大阪市教育振興公社・SPS共同事業体>

海からの贈り物

～沈没船とさまざまな交流～

大阪市立東洋陶磁美術館の特別展「新発見の高麗青磁—韓国水中考古学成果展」開催にちなみ、大阪市立東洋陶磁美術館、大阪文化財研究所、大阪市立自然史博物館、大阪歴史博物館、大阪市立美術館に、大阪市立大学が加わり、各分野の専門家が、沈没船と文化財、海をめぐる人やモノなどのさまざまな交流について、多様な視点で紹介。総勢6名の講師が、独自のテーマでお話します。この機会に是非、ご参加ください。



青磁獅子形香炉蓋
高麗時代・1131年以前
忠清南道泰安郡 泰安船出土
韓国国立海洋文化財研究所蔵
写真：六田知弘



朝鮮通信使御楼船図屏風(部分)
江戸時代／大阪歴史博物館蔵



アサギマダラ(吸蜜)

11月10日(火) 19:00～20:30 第1回「沈没船と海中の文化財」

①「高麗青磁研究と韓国水中考古学」

大阪市立東洋陶磁美術館 学芸員 鄭銀珍

近年、韓国の水中考古学がめざましく発展し、高麗時代の船体、陶磁器や銅銭、穀物等々が次々と引き揚げられています。とくに高麗青磁は一部が発送地や宛先を記した木簡、竹簡をとまっており、流通の状況を知る手掛かりが得られました。本講座では、高麗青磁研究のこうした新たな動向を紹介いたします。

②「沈没船保存の最前線！—大阪生まれの保存技術が水中文化財を救う—」

大阪文化財研究所 学芸員 伊藤幸司

本年、松浦市鷹島沖で元寇のものと思われる2隻目の沈没船が発見され、引き揚げが期待されています。その保存処理には長い年月と高額の費用が必要で、海底出土品特有の問題も起こります。このような文化財を保存する為、当研究所で開発したトレハロース含浸法が目ざされており、新たな保存処理システムの開発を進めています。今回は最新情報を紹介いたします。

11月19日(木) 19:00～20:30 第2回「海を渡る使者たち」

③「朝鮮通信使たちの水上パレード—大坂で出迎えた豪華絢爛の川御座船—」

大阪歴史博物館 学芸員 大澤研一

江戸時代に朝鮮から来日した通信使一行を大坂の港で出迎えた川御座船はきらびやかな装飾を施したもので、通信使の目を驚かせました。日本・韓国に分散して伝わる御座船の絵画作品や記録から御座船のパレードの様子と御座船の姿を紹介し、通信使を介した交流にかけた日本側の思いをさぐります。

④「海を渡って旅をする蝶・アサギマダラの移動と生物の交流」

大阪市立自然史博物館 学芸員 金沢至

春～初夏に台湾あたりから日本へ北上し、秋に南下するアサギマダラの生活は、約40年間に及ぶマーキング調査により徐々に明らかになってきました。日本と台湾の間の移動は、すでに27例にのぼっており、日本→香港も2例目が記録されています。この講座では、アサギマダラなどの昆虫の移動から、その進化の仮説を検討し、生物としてのヒトの交流も考えてみます。

11月26日(木) 19:00～20:30 第3回「港町と交易品」

⑤「海を渡った日本の蒔絵」

大阪市立美術館 学芸員 土井久美子

16世紀、ポルトガル人宣教師が日本から持ち帰ったキリスト教の祭具や調度から欧米への漆器輸出は始まり、18世紀にはフランス王妃マリーアントワネットをはじめ王侯貴族が蒔絵を蒐集しました。19世紀になると万国博覧会で新古の蒔絵が紹介され蒐集熱が高まり、多くの作品が国外に流出しました。本講座では海を渡った日本の蒔絵の流れを紹介いたします。

⑥「中世日本海の港町」

大阪市立大学 大学院文学研究科 教授 仁木 宏

中世の山陰・北陸地方には個性的な港町がたくさん発達していました。今回は、自然地形、交易品、支配者である寺社や武家などに注目して紹介します。京都の北の玄関口・小浜(福井県)、石見銀山の積み出し港・温泉津(島根県)、アイヌや大陸を結ぶ国際貿易港・十三湊(青森県)などをとりあげます。

大阪市立東洋陶磁美術館 特別展「新発見の高麗青磁—韓国水中考古学成果展」 平成27年9月5日(土)～11月23日(月・祝)

申込み・問合せ先 ▶▶ 大阪市立総合生涯学習センター 企画推進課
<http://www.osakademanabu.com/umeda/>

☎ 電話 ▶▶ 06-6345-5004

☎ FAX ▶▶ 06-6345-5019 (氏名・連絡先・ご希望の参加日を記入のうえお申込みください)

🚶 センター来館 ▶▶ 〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-500 大阪駅前第2ビル5階
【開館時間 9:30～21:30(日祝 17:00)】(休館日 毎月第1・3月曜日)

🌐 インターネット ▶▶ 「いちようネット」を検索しトップページより「講座・イベント」を選択。
キーワード欄に「ミュージアム連続講座」と入力・検索のうえお申込みください



交通

- 地下鉄四つ橋線「西梅田」
- 御堂筋線「梅田」
- JR「大阪」
- JR東西線「北新地」
- JR東山線「東梅田」
- 阪急電車「梅田」
- 阪神電車「梅田」

【個人情報の取り扱いについて】 ■ご記入いただきました個人情報は、本講座で参加の確認やご連絡のためにのみ使用いたします。 ■事業者：(一財)大阪市教育振興公社 ■ご記入いただきました個人情報は、講座の開催・運営に必要な範囲で、個人情報の全部または一部を預託・共同利用する場合があります。 <共同利用者の範囲> (一財)大阪市教育振興公社・SPS共同事業体 ■個人情報の取扱い、苦情及びご相談に関するお問合せ先：一般財団法人大阪市教育振興公社 個人情報保護管理者 総務課長宛 電話：06-4963-2527(月～金/10:00～17:00)